

笑顔で明るい未来に向かって！

ご卒業おめでとうございます。小学校生活最後の日、皆さんの堂々とした姿に胸がいっぱいになりました。これから先も、すべての出会いに感謝し、自分らしく歩んでいってください。いつまでも応援しています。  
友枝小学校 6年担任 伊東 美晴

4

2026  
April

広報こうげ  
vol.246

何事にもくじけず  
挑戦し続ける子ども



上毛中学校3年  
吉元 琥太郎さん

### 高校でもさらに成長し続けたい

私は、3年間の中学校生活を通して、努力することが大切だと思いました。私は、野球に全力で打ち込み、県大会ではベスト8という結果を残すことができました。バットを振ったり走り込んだり、きつい練習を乗り越えてきました。また、キャプテンとしてチームを率いた経験から、責任感と仲間の大切さを学びました。この経験を活かして高校でもさらに成長し続けたいと思います。



友枝小学校6年  
常慶 志歩美さん

### 困っている人の力になりたい

私の将来の夢は、たくさんの方の命を救う看護師です。「困っている人の力になりたい。」そう思ったことがきっかけです。しかし、看護師の仕事は人の命に関わるため大変で責任が重い仕事だという不安もありました。そんな時に、委員会活動を思い出しました。最初は、何をしたら良いのか分からなかったり、失敗することもあったりしたけれど、友達や先生に教えてもらって取り組むうちに、だんだんできるようになりました。自分にも自信を持つことができるようになり「挑戦する」ことの大切さを学びました。どんなことにも前向きに取り組むことで、挑戦して良かったと思えるようになり、「やってみる」という言葉を大切にしてきました。やってみることで自信が付き「やってみよう」と思える自分になりました。これからも、どんなことにも「挑戦」して、たくさんの方を笑顔にできる看護師になれるようがんばります。

こうげ素敵人  
KOGÉ Nice person!

## 新しい夢に向かって

この春、町内の小・中学校を卒業した5人をご紹介します。



唐原小学校6年  
垣副 心音さん

### あなたはあなたであればいい

私はいつも、人と自分を比べてしまい、自信がもてませんでした。自分のことを好きになれない時もありました。でも、そんな私に先生は、「やればできる」と言い、努力するところをほめ続けてくれました。そして、マザーテレサの「あなたはあなたであればいい」という言葉を知り、今のままの自分でも大丈夫だと思うようになりました。先生が信じてくれた私を、これからは私自身も信じて、中学校に行っても自分らしく一歩ずつ歩んでいきたいです。



西吉富小学校6年  
黒土 蒼羽さん

### 友だちを助けられる存在に

将来、僕は、困っている人を助けられる存在になりたいです。そう思ったきっかけは、まだ困っている人が世界中にたくさんいると知ったからです。6年生の学習で、戦争のことについて学びました。現在も戦争をしている国があると聞いて、自分たちは平和でも、平和に過ごせていない人がいると気づきました。そこで、まずは、困っている友だちから助けることが大切だと考えました。中学校生活では、一人で悩んでいる友だちの話の聞いたり、問題を一緒に解決したりして、友だちを助けられる存在になりたいです。そして、自分も周りも平和で笑顔あふれる中学校生活を送りたいです。



南吉富小学校6年  
園田 琉夏さん

### 上毛町に恩返しを

私の将来の夢は、公務員として役場で働き、町の魅力を多くの人に伝えることです。私がそう思ったきっかけは、「バンコク友好の翼」でタイのホームステイに行ったことです。そのとき、役場の方が私たちに優しく声をかけたり、体調を気遣ったりしてくれました。その姿を見て、私も周りの人を思いやり、みんなの役に立てる人になりたいと思いました。また、私は児童会長として学校のみんなの意見を聞き、よりよい学校にするために活動してきました。その経験から、人の役に立つことの大切さや、みんなのために行動することのやりがいを感じました。公務員は多くの方の生活を支える地域のために働くことができる仕事だと思います。町の人たちの声を聞きながら、よりよい町づくりに関わることができるところにも魅力を感じました。私は、たくさんの方の魅力がある上毛町が大好きです。その上毛町の魅力を多くの人に伝えたいと思いました。これからも人を思いやる気持ちを大切に、みんなから信頼される人になりたいと思います。そして、今までお世話になった上毛町に恩返しをしたいです。